

## 市立看護専門学校学生

### ■看護第1科

**募集人員:** 40人(推薦入学者含む) **受験資格:**

①高等学校または中等教育学校卒業(来年3月卒業見込者含む)、または同等以上の学力があると認められた方②本校の個別入学資格審査に合格した18歳以上の方 **試験日:** 学科/来年2月4日(水)、面接/2月5日(木)

### ■看護第2科

**募集人員:** 40人 **受験資格:** ①准看護師免許を得てから3年以上業務に従事している方②高等学校または中等教育学校卒業で、准看護師養成所の卒業者(来年3月卒業見込者含む)③高等学校衛生看護科の卒業生(来年3月卒業見込者含む)④本校の個別入学資格審査に合格した18歳以上の方 **試験日:** 学科/来年1月28日(水)、面接/1月29日(木)

[共通事項] **受験料:** 8,000円 **願書受付:** 来年1月5日(月)～19日(月) **出願書類の請求:** 封筒に希望の科を表書きし、90円切手を貼った返信先明記の返信用封筒(長形3号)を同封して郵送または直接、市立看護専門学校(〒441-8085 青竹町字八間西100-3) **問合せ先:** 市立看護専門学校(☎33・7891)

## 図書館まつりリサイクル本

12月13日(土)に開催する「図書館まつり本のリサイクル」でチャリティー販売する本を募集します。

**募集対象:** 読み終えてリサイクルしたい本(雑誌、全集、百科事典、汚れの著しいものなどを除く) **募集期間:** 11月30日(日)まで **持込場所:** 中央図書館(羽根井町)、配本センター(向山大池町市民文化会館内)、石巻・二川・南稜・北部・青陵・南部地区市民館、こども未来館ここここ(松葉町三丁目) **その他:** 集まった本の整理作業を12月上旬に行います。手伝っていただけるボランティアを募集します **問合せ先:** 中央図書館(☎31・3131)

## 看護師等再就職チャレンジ支援研修

**とき:** 12月8日(月)～12日(金)(全5回) 午前9時30分～午後3時 **ところ:** 市民病院、看護専門学校(青竹町字八間西) **対象:** 看護師などの資格を持ち現在未就業で看護業務へ再就職を希望する方 **内容:** 最近の医療と看護についての講義や看護技術演習と病院実習 **定員:** 10人(申込順) **参加料:** 無料 **その他:** 6か月～就学前の託児あり(予約制。おやつ代500円必要) **申し込み:** 10月16日から男女共同参画課(☎51・2188)

## 禁煙ニコニコプラン

**とき:** 11月6日(木)①午前9時②午前10時30分③午後1時30分④午後3時 **ところ:** 市役所健康課健康相談室(東館3階) **対象:** 市内在住の方 **内容:** 約3か月間で禁煙を目指します。禁煙開始後の辛い症状を上手に乗り切るため、個人に合わせた検査や面接を行います **講師:** 保健師 **定員:** 4人程度(申込順) **参加料:** 無料 **申し込み:** 11月5日までに健康課(☎51・2370)

## 募集



## 市民スポーツ写真コンクール作品

**テーマ:** 市内で撮影したスポーツ・レクリエーションに関するもの **応募資格:** 市内在住・在勤の方 **作品:** 白黒・カラーともに2Lサイズ以上で昨年11月1日以降に撮影した自作未発表の作品。フィルム写真、デジカメ写真どちらでも可 **賞:** 推薦1点・特選2点・入選15点にそれぞれ賞状と賞金 **その他:** 入選作品の著作権は主催者に帰属し、賞と引き換えにネガ・データをいただきます **応募方法:** 11月30日(必着)までに裏面に応募票を貼った作品を郵送または直接、豊橋市体育協会(〒440-0832 岩田町1-2 岩田運動公園内 ☎63・3031) ※応募票は各体育施設、豊橋市体育協会に配布中

## 固定金利の勤労者住宅ローン

**申込者の資格:** 次のすべてを満たす方  
①市内在住・在勤の勤労者で市内に住宅を建築する方、または市内の住宅・宅地を購入する方②継続的な収入が見込まれ償還が確実である方③同一事業所に1年以上勤務している方④住宅建築の場合は宅地を所有または借地している方⑤宅地購入の場合は現に宅地を所有していない方とし、地続き隣地購入の場合は現に宅地、住宅を所有しては引き渡し前)⑦同居家族がいる方で原則として世帯主(婚約者は家族に含む)⑧この制度の融資残高がない方⑨税の滞納がない方 **資金使途:** 新築耐震改修・補強工事を含む増改築、住宅・宅地・隣地の購入 **融資対象面積:** 住宅/30㎡以上175㎡以下(増改築の場合は既設部分を含め175㎡以下)、土地/500㎡以下(地続き隣地は既存宅地との合計面積) **限度額:** 1,500万円 **返済期間:** 25年以内 **利率:** 年2.9%(固定) **保証人など:** 連帯保証人2人以上、または取扱金融機関の指定する信用保証機関 **担保:** 土地・建物の担保が必要 **申込先:** 工業勤労課(☎51・2443)

## 就学援助制度を利用してください

市立小・中学校への就学にあたり、制度の認定基準にあてはまる方を対象にして給食費・学用品費などを援助しています。

**申請に必要なもの:** ①所得のある世帯員全員分の源泉徴収票・所得証明書など所得を証明する書類(児童扶養手当受給者は手当証書)②印鑑③振込先(ゆうちょ銀行を除く)の預金通帳 **その他:** 現在、受給している方は申請の必要はありません **申請先:** 学校教育課(☎51・2817)

まちづくり交付金(植田地区)の事後評価原案を公表します

平成16～20年度に行っている市営植田住宅を中心とした区域の整備について事後評価を実施しています。

**公表期間:** 10月22日～11月4日(土・日曜日、祝日除く) **公表場所:** 市役所住宅課(東館3階)・じょうほうひろば(東館地下1階)、ホームページ(<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/juutaku/>)  
**その他:** 意見のある方は公表期間中に意見を提出することができます **問合せ先:** 住宅課(☎51・2602)

海区漁業調整委員会委員選挙人名簿を縦覧します

**縦覧期間:** 10月20日～11月3日午前8時30分～午後5時 **縦覧場所:** 選挙管理委員会(市役所東館5階) **問合せ先:** 選挙管理委員会(☎51・2960)

教室開催のため、アクアリーナ豊橋の営業開始時間を変更します

**変更日時:** 11月9日・16日・23日・30日の日曜日午前10時30分～午後9時(通常は午前9時から) **ところ:** アクアリーナ豊橋(神野新田町字メノ割) **問合せ先:** アクアリーナ豊橋(☎31・4781)

## 情報あれこれ

本の特別貸出をします

中央図書館(羽根井町)、配本センター(向山大池町市民文化会館内)、石巻・二川・南稜・北部・青陵・南部地区市民館、こども未来館ここここ(松葉町三丁目)で、読書週間にあわせて1人10冊(通常5冊)まで貸出をします。貸出期間は2週間です。

**特別貸出期間:** 10月21日(火)～11月9日(日)(休館日を除く) **問合せ先:** 中央図書館(☎31・3131)



民俗資料収蔵室の耐震改修工事を行います

民俗資料収蔵室(多米町字滝ノ谷)を土・日曜日に公開していますが、工事のため建物内部の見学ができなくなります

**期間:** 11月10日(月)～来年3月中旬 **問合せ先:** 美術博物館(☎51・2882)

秋の530運動実践活動を実施します

530運動環境協議会では昭和50年から「自分のゴミは自分で持ちかえりましょう」を合言葉に、皆さんの参加による美しいまちづくりを進めています。

**とき:** 11月8日(土)～17日(月) **内容:** 市民の日を含む10日間に市内一斉の清掃活動を実施します。各町自治会、団体、事業所などのグループ単位で実施し、行う際は事前に申し込みをしてください  
**申し込み:** 申込用紙で530運動環境協議会事務局(環境政策課内☎51・2414)※申込用紙は環境政策課で配布中

情報ピックアップ



丸山薫賞

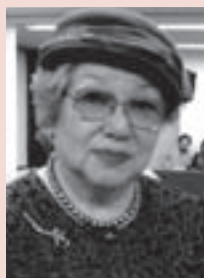
新川和江さんの「記憶する水」

**問合せ先:** 文化課(☎51・2875)

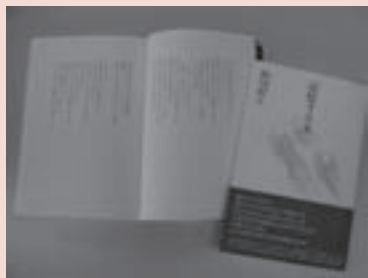
現代詩に多大な業績を残した詩人・丸山薫を永く称えらるるとともに、詩文化の発展のため、全国から公募した詩集の中から優れた現代詩集に「丸山薫賞」を贈っています。今回は応募詩集と推薦詩集合計231冊が対象となりました。  
**受賞詩集名** 「記憶する水」(思潮社)  
**受賞者** 新川和江さん **受賞者略歴** 昭和4年生まれ。東京都在住。詩集に「土へのオード13」「はたはたと頁がめくれ」ほか多数。日本現代詩人会会員

■贈呈式

**とき** 10月21日(火)午後1時30分 **ところ** ホテルアソシア豊橋(花田町字西宿)



新川和江さん



「記憶する水」

後編 出資団体の財政状況

市が出資している公社や財団法人などは市民サービスの向上に欠かせない存在です。各団体の財政状況は市民の皆さんにとっても大事な情報。ぜひご覧ください。

(大岩)

表紙の写真

豊橋市南消防署の引揚救助チームは、8月29日に福岡県北九州市で行われた全国消防救助技術大会で、優秀賞を獲得しました。引揚救助とは、地下などでの災害を想定し、5人1組(要救助者を含む)で要救助者の探索から救出、隊員の脱出までの安全確実性と所要時間を競い合うものです。